

# 小学校高学年児童及び中学校生徒の 日本語表現の不適格性の分析から

千葉大学教育学部  
伊坂 淳一

## 【調査の方法】

- 教室の教員に依頼 → **ふだん通りに書く環境**
- 20分程度 → **推敲に時間をかけない**

## 【児童生徒に与えた課題】(提示文はルビ付き)

今年一年間の国語の時間についてふりかえり、つぎの題目のなかから、好きなものを一つえらんで、かんたんな作文を書いてください。  
テストではありませんので、ふだんのままの気持ちで書いてください。

- 1 いちばん楽しく学習できたこととその理由
- 2 いちばん自分のためになったと思うこととその理由
- 3 いちばん強くおぼえていることとその理由

## 1 研究の概要

### 【目的】

日本語を母語とする小・中学生の日本語による自由記述作文を資料とし、そこに現れた文法的な不適格性を量的・質的の両面から分析して、国語教育における「書くこと」の指導に資する基礎データを提示する。

### 【調査の概要】

- 平成23年2月～3月、同24年2月～3月
- 千葉県内小学校2校・中学校3校
- 課題を提示しての自由記述作文
- サンプル数(右表)

小学生	5年	267	360	1124
	6年	93		
中学生	1年	219	764	
	2年	339		
	3年	206		

## 【調査シート】

調査シート

1. 今年一年間の国語の時間についてふりかえり、つぎの題目のなかから、好きなものを一つえらんで、かんたんな作文を書いてください。テストではありませんので、ふだんのままの気持ちで書いてください。

2. いちばん楽しく学習できたこととその理由

3. いちばん自分のためになったと思うこととその理由

4. いちばん強くおぼえていることとその理由

（小・中・高校） 年 月 日

### 【児童生徒に与えた課題の性質】

- 書かせる文章の種類としては**随筆文**
  - 随筆文は小学校6年教科書で扱われることが多い
- 年度末のふりかえり的な性格
  - どの児童生徒にも書きやすいだろう
  - **引用や転記をふせげるだろう**
- 日常的な「書くこと」の指導の比重、推敲に関する指導の比重、言語表現形式を整えることの指導の比重などについては未勘案

### 3 考察(1)－「不適格性の出現は学年進行と関係するか」

➤ 学年進行に伴いおおよそ改善される。特に中2段階で改善される。

		小5	小6	中1	中2	中3
全サンプル数		267	93	219	339	206
文法的不適格性の出現数及び出現率	箇所レベル	239	86	151	155	55
		89.5%	92.5%	68.9%	45.7%	26.7%
	文レベル	196	72	145	135	53
		73.4%	77.4%	66.2%	39.8%	25.7%
	サンプルレベル	138	50	110	116	49
		51.7%	53.8%	50.2%	34.2%	23.8%

### 2 文法的不適格性の考察範囲

#### ■ 作業仮設としての定義(資料1)

構文上の何らかの原因によって、文法的に適格性を欠いた文

➤ 個別事例の適否判断＝研究者自身の判定

#### ■ 除外例(資料2)

- 表記上の誤りや単純な脱字・衍字と思われるもの
- 語彙レベルの問題に還元できるもの
- 現代的な言語の変化やゆれの過程にあるもの
- いわゆる「ら抜き言葉」や「たり・たり」の欠落、その他の口頭語的な表現一般

### 4 考察(2)－「不適格性が集約的に出現するのはどこか」

①理由表現(資料3) ・ 中2の微増について、理由は不明  
 ・ 小学生には直接的な理由表現文が多出

		小5	小6	中1	中2	中3
全サンプル数=(a)		267	93	219	339	206
文法的不適格性の箇所の総数=(b)		239	86	151	155	55
(b)のうち「理由表現」に関わるもの=(c)		77	23	27	50	15
(a)に対する割合=c/a		28.8%	24.7%	12.3%	14.7%	7.3%
(b)に対する割合=c/b		32.2%	26.7%	17.9%	32.3%	27.3%
(c)のうち呼応する語句が欠如したもの=(d)		74	22	26	50	14
(c)に対する割合=d/c		96.1%	95.7%	96.3%	100.0%	93.3%
「なぜ」に対して		(18)	(3)	(6)	(19)	(7)
「理由は」に対して		(56)	(19)	(20)	(31)	(7)

#### 4 考察(2)－「不適格性が集約的に出現するのどこか」

- ①理由表現
- ・ 判定の微妙な事例がある。(資料4)
  - ・ 表現の技能の差が見られる。(資料5)
  - ・ なぜ理由表現に不適格性が多く表れるか？  
→理由について聞いたので、理由表現の文が多くなった。

#### ➤ 学習指導要領(小学校・中学年)との関連

現行版	次期案
書くこととすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。(Bウ)	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。(Bウ)
	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。(知識及び技能 (2)情報の扱い方)

#### 4 考察(2)－「不適格性が集約的に出現するのどこか」

- ③主語・述語の整合性＝いわゆる「文のねじれ」(資料7)
- ・ 文のねじれの出現頻度はかなり低い

	小5	小6	中1	中2	中3
全サンプル数=(a)	267	93	219	339	206
文法的不適格性の箇所の総数=(b)	239	86	151	155	55
(b)のうち「主語・述語の不整合」に関わるもの=(c)	8	5	13	10	7
(a)に対する割合=c/a	3.0%	5.4%	5.9%	2.9%	3.4%
(b)に対する割合=c/b	3.3%	5.8%	8.6%	6.5%	12.7%

#### 4 考察(2)－「不適格性が集約的に出現するのどこか」

- ②文の接続(資料6)
- ・ 特に小学生から中1までに頻度が高い
  - ・ 類型は見られるが、単一的な分類は不可能

	小5	小6	中1	中2	中3	
全サンプル数=(a)	267	93	219	339	206	
文法的不適格性の箇所の総数=(b)	239	86	151	155	55	
(b)のうち「文の接続」に関わるもの=(c)	77	30	53	35	13	
(a)に対する割合=c/a	28.8%	32.3%	24.2%	10.3%	6.3%	
(b)に対する割合=c/b	32.2%	34.9%	35.1%	22.6%	23.6%	
内訳	意味・論理関係	(36)	(20)	(31)	(22)	(3)
	接続の過多	(28)	(7)	(17)	(6)	(6)
	同一接続語の重出	(9)	(1)	(3)	(5)	(3)
	主語の省略・転換	(4)	(2)	(2)	(2)	(1)

分類は試みたが、本来分けられるものではないだろう。

#### 4 考察(2)－「不適格性が集約的に出現するのどこか」

- ④主題の表現(資料8)
- ・ 単純に、「ハ」と「ガ」の混同のように扱えるのか。  
(例えば、「総記のガと対比のハは紛れやすい」といえるか。)

	小5	小6	中1	中2	中3
全サンプル数=(a)	267	93	219	339	206
文法的不適格性の箇所の総数=(b)	239	86	151	155	55
(b)のうち「主題の表現」に関わるもの=(c)	18	9	12	12	7
(a)に対する割合=c/a	6.7%	9.7%	5.5%	3.5%	3.4%
(b)に対する割合=c/b	7.5%	10.5%	7.9%	7.7%	12.7%

#### 4 考察(2)－「不適格性が集約的に出現するのどこか」

##### ⑤ 述語の格支配 (資料9)

- 「～が…覚えている」への集中  
→ 「～がよく理解できた／～がよくわかった／～が印象に残っている。」などとの錯綜？

	小5	小6	中1	中2	中3
全サンプル数=(a)	267	93	219	339	206
文法的不適格性の箇所総数=(b)	239	86	151	155	55
(b)のうち「述語の格支配」に関わるもの=(c)	11	4	14	20	4
(a)に対する割合=c/a	4.1%	4.3%	6.4%	5.9%	1.9%
(b)に対する割合=c/b	4.6%	4.7%	9.3%	12.9%	7.3%
(c)のうち「(私は)～が覚えている」	10	3	12	16	3

#### 5 小中学生の不適格例は文法研究とリンクするか

##### 資料8「主題の表現に関わる不適格例」

- (3) 授業の途中のミニコントではA君やB君などとやったのは一番楽しかったです。(中1)
- (4) 又、最終的に、主人公を許すべきか、許してはいけないかの議題で、かなり激しい議論をした時は、二学年の中で一番楽しかった。(中2)
- (7) 自分は今年一年間の国語の時間にやったことでいちばん強くおぼえていることは走れメロスです。(中2)
- (8) 僕は一番楽しく学習することができたのは「川柳・俳句」です。(中1)



- 文法研究のカテゴリーに結び付けたい
- 「ハ」と「ガ」の使い分け
  - 「総記」はガで表示する
  - 従属文中の主語はガで表示する

#### 4 考察(2)－「不適格性が集約的に出現するのどこか」

##### ⑤ 述語の格支配 (資料9)

- 「～が…覚えている」への集中

##### ➤ 課題の提示文からの干渉？

- いちばん楽しく学習できたこととその理由
- いちばん自分のためになったと思うこととその理由

→  
 ・私は～がいちばん楽しく学習できた。  
 ・私は～がいちばん自分のためになった。

↓  
 ・私は～がいちばんよくおぼえている。

##### ➤ 小学校低学年から書き慣れている文型からの干渉？

- ・私は～が好きです／～がほいす。
- ・私は～がよかったです。～がうれしかったです。

#### 5 小中学生の不適格例は文法研究とリンクするか

##### 資料8「主題の表現に関わる不適格例」

- (3) 授業の途中のミニコントではA君やB君などとやったのは一番楽しかったです。(中1)
- (4) 又、最終的に、主人公を許すべきか、許してはいけないかの議題で、かなり激しい議論をした時は、二学年の中で一番楽しかった。(中2)

##### ➤ 課題の提示文からの干渉(その2)？

- いちばん楽しく学習できたこととその理由
- いちばん自分のためになったと思うこととその理由

→  
 ・いちばん楽しく学習できたことは～  
 ・いちばんためになったと思うことは～

##### ➤ 当初プラン→タイムラグ→文型シフト

いちばん楽しく学習できたことは [～でした]



[いちばん楽しく学習できたことは] … [～が]いちばん楽しかったです。

## 5 小中学生の不適格例は文法研究とリンクするか

### 資料8[主題の表現に関わる不適格例]

(7) 自分は今年一年間の国語の時間にやったことでいちばん強くおぼえていることは走れメロスです。(中2)

(8) 僕は一番楽しく学習することができたのは「川柳・俳句」です。(中1)

- 文章を「私は」「ぼくは」と書き出すことが、習慣的な話形として無意識に身についているのではないか。

## 6 小中学校で言語表現形式の適格性について指導すべきか

- 「書くこと」の学習指導においては、優先すべき事項が多々ある。
- 特別な指導をしなくても、形式的な不適格性はいずれ解消されていく。
- 包括的な推敲の能力を習得させるべきである。
- 自分で自分の言語表現を読み返し、不適格な箇所を発見できる直感力、友だちの言語表現を読んで、不適格な箇所を指摘して説明できる能力を、6年間、9年間を通して、「書くこと」の中に明確に位置付け、学習活動をくり返すことが重要であろう。ただし、これも「書くこと」全般の中で他に優先すべき事項がある場合は、付加的でもやむをえないだろう。

## 5 小中学生の不適格例は文法研究とリンクするか

### 資料6[文の接続に関する不適格例]

(1) 理由は、私も1年生の時、転校することになって、なかよしだった友だちと別れることになって、さみしかったし、船橋から、習志野に引っこすから、友だちに会えるかとか、友だちができるか、心配で、よく熱を出していたけど、最後の日に、学校行けてうれしかった。(小5)

- 「接続助詞や接続詞の使い方について理解できていない」という文法的知識の欠如や、文法的な直感的言語能力が未発達である、ということではなく、言語運用レベルにおいて、「当初プラン-タイムラゲ-文型シフト」が、書く行為の中で常時に介入してくるためであると捉えるべきであろう。

## 6 小中学校で言語表現形式の適格性について指導すべきか

(例) [次期学習指導要領(案)] 小学校中学年

### 思考力・判断力・表現力等の目標

(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。

ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。  
イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。  
ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

(例)  
「理由」を言いたい時は、どのように書いたらいいだろうか？

## 小学校高学年児童及び中学校生徒の日本語表現の不適合性の分析から（別紙資料）

千葉大学教育学部 伊坂 淳一

※他への転載をご遠慮ください。

### 資料1 [文法的な不適合性]

- (1) いちばん強くおぼえているところは、「少年の日の思い出」が一番おぼえています。
- (2) 私は1年間国語の勉強をして、いちばん楽しく学習することができた単元は「河童と蛙」です。
- (3) でも、「エーメール」は、「ぼく」とちがってチョウの管理もいいし、もはん少年で、「ぼく」は、チョウの管理もそこまできれいではなくて、学校をさぼったりして、ダメなせいで、「ぼく」が「エーメール」のスゴイチョウをぬすんでしまって、そのチョウをバラバラにしてしまって、そこで、ぼくは、盗みはいけないことだと思いました。

### 資料2 [文法的な不適合性の除外例]

- (1) ビデオの「走れメロス」もとても見やすくて教科書の話しとは少し変っていたのであきないで見れました。
- (2) その理由は、人の事を信じる大切を知れたからです。
- (3) しかし、実際にやってみると相手は何を根拠に、どうゆう意見を持ったのか、とか自分達の意見の矛盾な点がわかったりして納得させられることもたくさんありました。
- (4) 教科書の学習とテレビで見た内容はまったくちがくて見えてとても面白かったです。
- (5) どういう時にこの漢字をつかうのかっていうことをわかるからやっぱりためになったと思います。

### 資料3 [理由表現の定型的な不適合性]

- (1) なぜなら、この12年間もあきらめないでさいごまでみつけたということが心にのこっています。(小5)
- (2) なぜかというと、いままで自分の体験、調べた事などを、文にまとめたことがなかったので、自分のためになりました。(小6)
- (3) なぜなら、漢字が読めないと国語どころか日本の地名や新聞が読めません。(中2)
- (4) なぜかというと、少年の日の思い出にでてくるぼくがとなりの家のエーメールの大事にしていたチョウ「ヤマユガ」をぼくがとってしまった所がいんしょうにのこりました。(中1)
- (5) 理由はというと、「討論会」はいわゆる「団体競技」で、少しでも仲間割れをしたら、そちら側の意見派はあえなく自滅してしまいます。(小5)
- (6) わけは、車の色は空の色シリーズの主人公である松井さん（タクシーの運転手）がいろいろこまっている人やおもしろい人やおかしい人とあって行きその人たちを助けていきます。(小5)
- (7) 理由は、普段はまったく考えていなかった小さい動物について考えるのが意外と楽しかった。(中3)
- (8) その理由は、メロスとセリヌンティウスの友情がとても心に残りました。(中2)

### 資料4 [判定の微妙な事例]

- (1) 理由は、プレゼンテーションでたくさんの友達と意見を聞き合いながらできたことです。(小5)
- (2) 理由は、文章が短いのに、とても楽しいのは、なぜか探して文章を書いたことです。(小6)

### 資料5 [表現の技能の差]

- (1) 理由はぼくは三学期にたくさん学校を休んでしまったので、10日間のあいだにぜんぶやらなくてはならなくなって、大変すぎた。なのでとてもくろうし、いんしょうにのこったので強くおぼえているからです。(小6＝文をまたぐ「理由は～からだ。」)
- (2) 理由はまとめられる力というものがつくと今後だれしも一回は人前でしゃべったり発表したりするきかひがあると思います。そんな時ちゃんとした文を組み立てたり、自分の感想・意見を入れたり、それをまとめるためにもこのまとめる力というもの大切だと思ったからです。(中2＝文をまたぐ「理由は～からだ。」)
- (3) 私が一番自分のためになったと思うことは、敬語や謙譲語の勉強です。学校にいる中でも、先生方に対する敬語が解らなくては礼儀がなくなってしまうからです。(3年＝「からだ」のみによる理由表現)
- (4) 大造じいさんがおとりのがんをつかう作戦がありました。その作戦のとき、はやぶさがおとりのがんをねらって、そこを残雪が助けるところです。仲間を助けようとする残雪の気持ちが伝わりました。その、残雪をかくまっていたら、大造じいさんのやさしさも深く心に残りました。このことから、私は、「大造じいさんとがん」が楽しかったです。(小5＝「なぜなら」「理由は」を使わない実質的な理由表現)
- (5) 国語の授業の中で、自分のためになったと思うのは、詩歌の味わいです。万葉集、古今和歌集、新古今和歌集の事を少しだけでもわかったような気がしました。短い文でも、それはとても深い意味があると知りました。(中3＝「なぜなら」「理由は」を使わない実質的な理由表現)

### 資料6 [文の接続に関する不適合例]

- (1) 理由は、私も1年生の時、転校することになって、なかよしかった友だちと別れることになって、さみしかったし、船橋から、習志野に引っこすから、友だちに会えるかとか、友だちができるか、心配で、よく熟を出していたけど、最後の日に、学校行けてうれしかった。(小5)
- (1) 男の人がきつねをおって、きつねは子どもにばけたり、そのねんれいをあてたりして、いちばんたのしかったです。(小6)
- (1) 写真では、1人1人が「すごい！」と思った所をとってのせて、長いぼうなどで「ここ！」と言う所をぼうなどでさして、工夫して、みんなにわかりやすく見やすいポスター、写真を作る事ができてとても楽しく思い出にのこっています。(小5)
- (2) みんながいろいろなことを発表して、ぼくたちのはんは「ラジコンカーの秘密」を発表することになって本やパソコンなどで資料になる物を、さがして最後に大きな紙に書いてクイズや聞いている相手が楽しくなるような物をみんな、作っていました。(小5)
- (3) 理由は、私は、しょうらい、作家や、編集かんけいになりたいので、学校で習う前から少し家で書いていたので、その学習があると思うと、とてもうれしかったです。(小5)
- (4) また、金子みすゞ（金子テル）さんの事についていろいろ知っておいたら、大人（社会人）になった時に、金子みすゞさんの事を少しでも知っていたら、少しは役に立つと思ったので、みすゞさがしの旅にしました。(小5)
- (5) 卑弥呼が国を治めるときにまが玉はひすいなどでできています。(小5)
- (6) 次の理由は、今までもひょうぼんの『浦島太郎』というのはげんじつではありませんが、読んで想像力をあたえていて、自分の中でひょうげんできるからです。(小5)
- (7) 理由は劇をしたり暗記したり、一番がんばったことで私は一番好きなことだからです。(中1)
- (8) 班などいろいろな人や友達などと話し合っ、しかも、相談できて「竹取物語」のとき平安時代のことをすつごくわかって、楽しかったです。(中1)
- (9) フリードリヒがヘルガへの思いなど、そして、いっしょにあそびにいて黄ベンチにすわろうとして、ヘルガは、フリードリヒの気持ちについてわかった。(中1)

- (10) 私は作品を読んでいるだけなのに、すごくかなしくなったりして登場人物の気持ちがわかりやすかったので、授業の終わりに登場人物の気持ちになって手紙を書く時にすごく書きやすかったです。(1年)
- (11) ブルトップ缶は昔はふたも本体も断面がえいりなため指を切りやすいという欠点があったが谷内さんが断面がかくれるように金型を工夫してプレスという機械を使って安全なブルトップ缶をつくる仕組みを世界に先がけて開発してしまったというところで一つのことに五年間も打ち込みその執念を生むのはなんとかして人々の役に立つ物をつくりたいという志の高さのところですごくいいと思いました。(中1)
- (12) 漢字は小学校<sup>(ママ)</sup>みたく、みんなで、勉強したり、書き順を覚えたりは、中学校では、みんなで学ぶのではなく、個人で漢字の読みがなや、ふりがな、漢字じたいを覚えたり、自達<sup>(ママ)</sup>で進めたりして、中学校では、自分のペースのできるので、自分なりの方法で覚えたり、読みがながわからなくなったら、友達が、小学校より、たくさんいるのできくことができるので、覚えやすいと思います。(中1)
- (13) ぼくがこの一年間の中で一番いんしょうにのこっているのは、少年の日の思い出で、正直、話は、ぼくがチョウをつぶしてしまったりして、あまりすきではないけれど、一番最初に読んだ時に、いろいろな考えがでてきて、それをじゅぎょうでかいけつしていくのもたのしかったし、それに、一番自分のためになったとおもったのは、さいばんをやったことです。(中1)
- (14) ウミガメと少年は少年が戦争にまきこまれ、おばあちゃんとおじいちゃんを無くしてそこで一人残されてずっと穴でかくれていてそして海軍がどこかへ行ってそれなのにまだ知らずにいてそこにウミガメがいて卵を産んでいたその卵を生まれさせようとしたが自分の欲に負けて食べてしまいその後悔にじずんでいったという物語でぼくはとくにウミガメの卵を食べてしまうということが一番感動させられました。(中3)

#### 資料7 [「文のねじれに関する不適格例」]

- (1) 僕が一番楽しかったのは、「効果的に発表しよう」という所が、『ため』になったなと思いました。(小5)
- (2) 一つ目は姉が小6のころ、音読で、家でよく「きつねの窓」を読み聞かせてくれていたのが一つ目の理由です。(小6)
- (3) ぼくが6年生の勉強で一番楽しかった学習は「星新一さんのショートショート」をグループがクラスで話し合っって星新一作品の工夫されている点やオチ(結末)や設定や展開・伏線などを使い、自分たちも星新一のようなシュールな世界を作ってみようと思んな一生けんめいがんばってとうとう6年5組だけのショートショートを完成させたのです。(小6)
- (4) 今年一年間国語の授業で一番楽しく学習できたは、有名な歌人、例えば藤原定家等の詠んだ歌を味わい、昔の人はどんなことを考えていたかを知ることができました。(中3)
- (5) 敬語は普通の生活の中で120%必要となる物で、面接や色々の場面で場をもたせたり、相手に好印象を与えられました。(中3)
- (6) ぼくがこの一年間で、いちばん強くおぼえていることは、(国語のことで)百人一首大会が印象に残っています。(中1)
- (7) ぼくがいちばん楽しく学習できたと思うのは、「少年の日の思い出」の学習が楽しかったと思います。(中1)
- (8) 私がびっくりしたのはぼくが盗みをしてしまったことよりチョウをこわしてしまったというほうがショックだったということはすごくびっくりしました。(中1)
- (9) 特に好きな場面は、かぐや姫を妻にしようとする貴公子たちの場面が好きです。(中1)
- (10) 私が中学一年生の時に、読んだ本は、漢字が多くあまり意味がわからなく読んでいました。(中3)

#### 資料8 [「主題の表現に関わる不適格例」]

- (1) ほかにも、夢の中の世界に入ったりして、身も心も強くなっていくというのは、物語が進むにつれて、態度や言葉使いも少しずつ変えていくというのはは難しく、いろいろとなやんでかいていたりしました。(小5)
- (2) 理由は、文章書くのが苦手だったから、長い文を書いたことは、自分のためになつたかなと思つたからです。(小5)
- (3) 授業の途中のミニコントではA君やB君などとやつたのは一番楽しかったです。(中1)
- (4) 又、最終的に、主人公を許すべきか、許してはいけないかの議題で、かなり激しい議論をした時は、二学年の中で一番楽しかった。(中2)
- (5) ぼくは、いちばん自分のためになつたと思うことは漢字です。(小6)
- (6) ぼくは、国語の中で一番強くおぼえているのは、キツネの窓です。(小6)
- (7) 自分は今年一年間の国語の時間にやつたことでいちばん強くおぼえていることは走れメロスです。(中2)
- (8) 僕は一番楽しく学習することができたのは「川柳・俳句」です。(中1)
- (9) 私は、今までの国語の時間で、いちばん楽しく学習ができたのは、「ベンチ」の学習です。(中1)
- (10) ぼくは、2番のいちばんじぶんのためになつたことは漢字および敬語等の文法です。

#### 資料9 [「述語の格支配に関わる不適格例」]

- (1) 私は、セロひきのゴーシュを読んで、宮沢賢治の書き方で、成長物語をかいた事がいちばん強くおぼえているからです。(小5)
- (2) なので私はこの二つのことから「伊能忠敬」の文章が一年間で一番強くおぼえています。(小6)
- (3) 1年生での国語は、少年の日の思い出が強くおぼえています。(中1)
- (4) 自分は『走れメロス』が一番強くおぼえている。(中2)
- (5) 僕はあの全てが謎につつまれている、話がとても強く覚えています。(中3)

#### 参考文献

伊坂淳一(2012)「中学生の日本語表現における文法的不適格性の分析」『千葉大学教育学部研究紀要』60]

伊坂淳一(2013)「小学校高学年児童の日本語表現における文法的不適格性の分析」『千葉大学教育学部研究紀要』61]